

## AVR313 : PC ATキーボードのインターフェース法

## 要点

- 標準PC ATキーボードのインターフェース
- 2つの入出力ピンだけが必要（それらの1つは外部割り込みピンでなければなりません。）
- 外部ハードウェア必要なし
- キーボード⇒シリアル変換器を実装するC言語での完全な例

## 序説

殆どのマイクロコントローラはいくつかの種類の対人インターフェースを必要とします。この応用記述は標準PC ATキーボードを使用してこれを行う1つの方法を記述します。

## 物理インターフェース

キーボードとホスト間の物理インターフェースが図1.で示されます。クロックとデータの2つの信号線が使用されます。信号線はキーボード内に配置されたプルアップ抵抗を持つオープンコレクタです。これはホストまたはキーボードのどちらでもLowレベルの強制を可能にします。"5D"型式の5ピンDINコネクタとより小さな6ピンのミニDINの2つのコネクタが利用可能です。ピン割り当ては表1.で示されます。

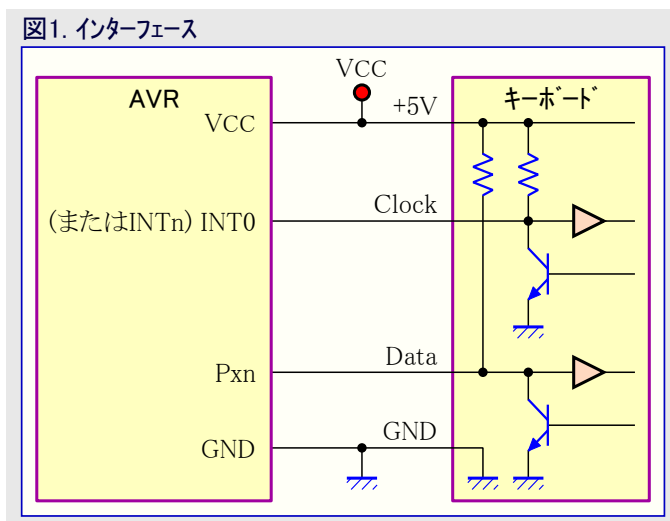
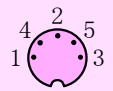



表1. ATキーボードコネクタピン割り当て

ATコンピュータ		
信号	DIN41524(PC側メス)5ピンDIN 180°	PS2形式6ピン ミニDIN(PC側メス)
Clock	1	5
Data	2	1
N.C.	3	2,6
GND	4	3
+5V	5	4
遮蔽	外殻	外殻



8ビット AVR<sup>®</sup>  
マイクロコントローラ

## 応用記述

本書は一般の方々の便宜のため有志により作成されたもので、ATMEL社とは無関係であることを御承知ください。しおりのはじめにでの内容にご注意ください。

Rev. 1235B-05/02, 1235BJ1-12/13

## タイミング

キーボードからホストへのデータ転送は図2.で示されます。規約は1開始ビット(常に0)、8データビット、奇数パリティビット、1停止ビット(常に1)です。データはクロックパルスのLow区間の間で有効です。キーボードがクロック信号を生成し、クロックパルスは代表的に30~50 $\mu$ sのLowと30~50 $\mu$ sのHighです。

ホストシステムはクロック線をLowに強制することによってキーボードへ命令を送ることができます。そしてデータ線をLowに引き込みます(開始ビット)。直ぐにクロック線は(キーボードに於いて)開放されなければなりません。キーボードは10個のクロックパルスを数えます。データ線はクロックパルスの後行端の前にホストによって正しいレベルに設定されなければなりません。第10ビット後、キーボードはデータ線上のHighレベル(停止ビット)を調べ、それがHighなら、データ線をLowに強制します。これはキーボードによってデータが受信されたことをホストに知らせます。この設計記述に於けるソフトウェアはキーボードへどんな命令も送りません。

## 走査符号

ATキーボードは各キーに関連する走査符号を持ちます。キーが押されると、この符号が送信されます。キーが一定の間、押さえ付けられると、繰り返しを始めます。繰り返し速度は代表的に1秒間に10回です。キーが開放されると、キー走査符号が後続する"break"符号(\$F0)が送信されます。キーの殆どに関して走査符号は1バイトです。*Home, Insert, Delete* キーのようないくつかのキーは2~5バイトの拡張走査符号を持ちます。(これらの)先頭バイトは常に\$E0です。これは"break"手順(例えば\$E0,\$F0,\$xx,...)についても変わりません。

ATキーボードは3組の走査符号を扱う能力があり、そして第2組が既定です。本例は第2組だけを使用します。

## 方法

キーボード受信はINT0\_interrupt割り込み関数によって処理されます。受信は残りのプログラムと無関係に動作します。

方法は全く単純で、クロックパルスの先行端でデータ線の値を格納します。これはクロック線がINT0またはINTnピンに接続されている場合、容易に扱われます。割り込み関数はクロック周期のエッジ毎に実行され、データは下降端で格納されます。全てのビットが受信された後、データを復号することができます。これはdecode関数を呼び出すことによって行われます。文字キーに関してこの関数はASCII文字を緩衝部内に格納します。キーが押された時にシフトキーが押さえ付けられている場合を考慮します。機能キー、誘導キー(矢印キー、Page Up/Downキーなど)のような他のキーとCtrlやAltのような変更キーは無視されます。

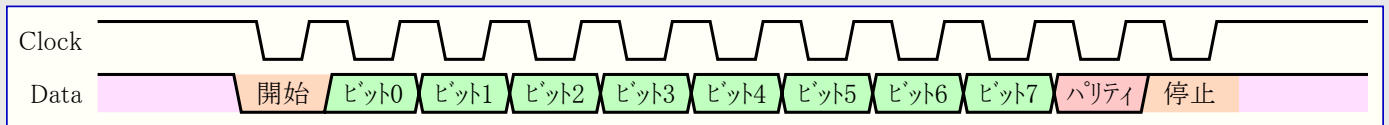
走査符号からASCII文字への割り当てはシフトされた文字に対する1つの表とシフトされないものに対する1つの参照表で処理されます。

## 変更と改良

ホストがキーボードとの同期を外した場合、後続する全ての受信データが不正になります。これを解決する1つの方法は時間超過を用いることです。1.5ms以内に11ビットが受信されない場合、何らかの異常が起きています。ビット計数器がリセットされ、誤ったデータは破棄されるべきです。

自動繰り返し(typematic)の速度と遅延のようなキーボードのパラメータが設定される場合、データがキーボードへ送られなければなりません。これは前で記述されるように行うことができます。命令についてはキーボード製造業者の仕様をご覧ください。

図2. キーボードからホストへの転送タイミング



## Main.c

```
#include <pgmspace.h>
#include <stdio.h>
#include <stdlib.h>
#include "io8515.h"

#include "serial.h"
#include "gpr.h"
#include "kb.h"

void main(void)
{
    unsigned char key;

    init_uart();      // UART送信緩衝部初期化
    init_kb();        // キーボード受信初期化
    while(1)
    {
        key=getchar(); // キーボードからの受信文字取得
        putchar(key);  // 受信文字をUART送信
        delay(100);
    }
}
```

## Low\_level\_init.c

```
#include <ina90.h>
#include <io8515.h>

int __low_level_init(void)
{
    UBRR = 12;        // 19200bps/4 MHz
    UCR = 0x08;      // UART送信許可
    GIMSK= 0x40;     // INT0割り込み許可

    _SEI();          // 全体割り込み許可
    return 1;
}
```

## Serial.c

```

#include <stdio.h>
#include <pgmspace.h>
#include <io515.h>          /* I/Oレジスタ宣言 */
#include "serial.h"

#define ESC 0x1b
#define BUFF_SIZE 64

flash char CLR[] = {ESC, '[', 'H', ESC, '[', '2', 'J', 0};

unsigned char UART_buffer[BUFF_SIZE];
unsigned char *inptr, *outptr;
unsigned char buff_cnt;

void init_uart(void)
{
    inptr = UART_buffer;
    outptr = UART_buffer;
    buff_cnt = 0;
}

void clr(void)
{
    puts_P(CLR);          // VT100端末へ '画面消去'を送信
}

int putchar(int c)
{
    if (buff_cnt < BUFF_SIZE)
    {
        // 緩衝部内空き有りで、
        *inptr = c;          // 緩衝部内に文字設定
        inptr++;          // 緩衝部書き込み位置指示子進行

        buff_cnt++;          // 緩衝部内文字バイト数増加

        if (inptr >= UART_buffer + BUFF_SIZE) // 緩衝部書き込み位置指示子上限丸め
            inptr = UART_buffer;

        UCR = (1<<UDRIE) | (1<<TXEN);          // UARTデータレジスタ空割り込み許可

        return 1;          // 成功符号で復帰
    } else {
        // 緩衝部内空きなしで、
        return 0;          // 緩衝部満杯符号で復帰
    }
}

/* 割り込み駆動UART送信 */
interrupt [UART_UDRE_vect] void UART_UDRE_interrupt(void)
{
    UDR = *outptr;          // 緩衝部から1バイト送信開始
    outptr++;          // 緩衝部読み込み位置指示子進行

    if (outptr >= UART_buffer + BUFF_SIZE) // 緩衝部読み込み位置指示子上限丸め
        outptr = UART_buffer;

    if (--buff_cnt == 0)          // 緩衝部内文字バイト数減少、緩衝部が空らで、
        UCR = UCR && (1<<UDRIE); // UARTデータレジスタ空割り込み禁止
}

```

## Kb.c

```

#include <pgmspace.h>
#include "kb.h"
#include "serial.h"
#include "gpr.h"

#include "scancodes.h"

#define BUFF_SIZE 64

unsigned char edge, bitcount;          // 0=下降端, 1=上昇端

unsigned char kb_buffer[BUFF_SIZE];
unsigned char *inpt, *outpt;
unsigned char buffcnt;

void init_kb(void)
{
    inpt = kb_buffer;          // 緩衝部初期化
    outpt = kb_buffer;
    buffcnt = 0;

    MCUCR = 2;                // INTO割り込みを下降端に設定
    edge = 0;                 // 下降端フラグ設定(0=下降端,1=上昇端)
    bitcount = 11;           // 受信ビット計数器初期化
}

interrupt [INT0_vect] void INT0_interrupt(void)
{
    static unsigned char data;    // 受信した走査符号バイト

    if (!edge)                  // 下降端割り込みで開始
    {
        if(bitcount < 11 && bitcount > 2)    // 10~3がデータ、開始/パリティ/停止ビットは無視
        {
            data = (data >> 1);           // 現受信データを1ビット下位側へ移動(MSB=0)
            if(PIND & 8)                   // Data線=High(1)で、
                data = data | 0x80;       // 現受信データのMSBを1に設定
        }

        MCUCR = 3;                // INTO割り込みを上昇端に設定
        edge = 1;                 // 上昇端フラグ設定(0=下降端,1=上昇端)
    } else {                       // 上昇端での割り込みで、

        MCUCR = 2;                // INTO割り込みを下降端に設定
        edge = 0;                 // 下降端フラグ設定(0=下降端,1=上昇端)

        if(--bitcount == 0)        // 受信ビット計数器減数、受信完了で、
        {
            decode(data);          // 受信走査符号をASCII符号に変換
            bitcount = 11;        // 受信ビット計数器初期化
        }
    }
}

```

```

void decode(unsigned char sc)
{
    static unsigned char is_up=0, shift = 0, mode = 0;
    unsigned char i;
    if (!is_up) // 直前がキー開放(break)符号でなければ、
    {
        switch (sc)
        {
            case 0xF0 : // キー開放(break)符号なら、
                is_up = 1; // キー開放(break)符号フラグ設定
                break;

            case 0x12 : // 左側Shiftキーなら、
                shift = 1; // シフトフラグ設定
                break;

            case 0x59 : // 右側Shiftキーなら、
                shift = 1; // シフトフラグ設定
                break;

            case 0x05 : // F1キーで、
                if(mode == 0) mode = 1; // ASCII動作開放状態ならば走査符号動作に変更
                if(mode == 2) mode = 3; // 走査符号動作開放状態ならばASCII動作に変更
                break;

            default:
                if(mode == 0 || mode == 3) // ASCII動作なら、
                {
                    if(!shift) // シフトなしで、
                    {
                        for(i = 0; unshifted[i][0]!=sc && unshifted[i][0]; i++); // 対応表検索
                        if (unshifted[i][0] == sc) { // 有効符号なら、対応文字をキー緩衝部へ格納
                            put_kbbuff(unshifted[i][1]);
                        }
                    } else { // シフト有り、
                        for(i = 0; shifted[i][0]!=sc && shifted[i][0]; i++); // 対応表検索
                        if (shifted[i][0] == sc) { // 有効符号なら、対応文字をキー緩衝部へ格納
                            put_kbbuff(shifted[i][1]);
                        }
                    }
                } else { // 走査符号動作なら、
                    print_hexbyte(sc); // 走査符号を16進文字で直接出力
                    put_kbbuff(' '); // 緩衝部に空白文字を設定
                    put_kbbuff(' ');
                }
                break;
        }
    }
    else { // 直前がキー開放(break)符号で、
        is_up = 0; // キー開放(break)符号フラグ解除($F0連続は禁止)
        switch (sc)
        {
            case 0x12 : // 左側Shiftキーなら、
                shift = 0; // シフトフラグ解除
                break;

            case 0x59 : // 右側Shiftキーなら、
                shift = 0; // シフトフラグ解除
                break;

            case 0x05 : // F1キーで、
                if(mode == 1) mode = 2; // 走査符号動作ならば走査符号動作開放状態に変更
                if(mode == 3) mode = 0; // ASCII動作ならばASCII動作開放状態に変更
                break;

            case 0x06 : // F2キーで、
                clr(); // 画面消去符号列送信
                break;
        }
    }
}

```

```

void put_kbbuff(unsigned char c)
{
    if (buffcnt < BUFF_SIZE)    // キー緩衝部空き有り、
    {
        *inpt = c;              // キー緩衝部に文字バイト設定
        inpt++;                 // キー緩衝部書き込み位置指示子進行
        buffcnt++;              // キー緩衝部内文字バイト数計数値増加

        if (inpt >= kb_buffer + BUFF_SIZE)    // キー緩衝部書き込み位置指示子丸め
            inpt = kb_buffer;
    }
}

int getchar(void)
{
    int byte;
    while(buffcnt == 0);        // キー緩衝部文字有りまで待機

    byte = *outpt;              // キー緩衝部から文字バイト取得
    outpt++;                     // キー緩衝部読み込み位置指示子進行

    if (outpt >= kb_buffer + BUFF_SIZE)    // キー緩衝部読み込み位置指示子丸め
        outpt = kb_buffer;
    buffcnt--;                  // キー緩衝部内文字バイト数計数値減少

    return byte;
}

```

## Gpr.c

```

#include "gpr.h"

void print_hexbyte(unsigned char i)
{
    unsigned char h, l;

    h = i & 0xF0;                // 上位ニブル抽出
    h = h >> 4;                  // 上位ニブルを下位ニブル位置へ移動
    h = h + '0';                 // 16進文字符号変換
    if (h > '9') h = h + 7;      // '9'越えて、'A'からに変更

    l = (i & 0x0F) + '0';        // 下位ニブル16進文字符号変換
    if (l > '9') l = l + 7;      // '9'越えて、'A'からに変更

    putchar(h);                  // 上位ニブル16進文字直接出力
    putchar(l);                  // 下位ニブル16進文字直接出力
}

void delay(char d)
{
    char i, j, k;
    for(i=0; i<d; i++)
        for(j=0; j<40; j++)
            for(k=0; k<176; k++);
}

```

## Pindefs.h

```

//*****
// ピン定義ファイル
//*****

// キーボード接続
#define PIN_KB PIND
#define PORT_KB PORTD
#define CLOCK 2
#define DATAPIN 3

```

Scancodes.h

```
// シフトなし符号-文字対応表
flash unsigned char unshifted[][2] = {
0x0d, '9',
0x0e, '|',
0x15, 'q',
0x16, '1',
0x1a, 'z',
0x1b, 's',
0x1c, 'a',
0x1d, 'w',
0x1e, '2',
0x21, 'c',
0x22, 'x',
0x23, 'd',
0x24, 'e',
0x25, '4',
0x26, '3',
0x29, ',',
0x2a, 'v',
0x2b, 'f',
0x2c, 't',
0x2d, 'r',
0x2e, '5',
0x31, 'n',
0x32, 'b',
0x33, 'h',
0x34, 'g',
0x35, 'y',
0x36, '6',
0x39, '.',
0x3a, 'm',
0x3b, 'j',
0x3c, 'u',
0x3d, '7',
0x3e, '8',
0x41, ';',
0x42, 'k',
0x43, 'i',
0x44, 'o',
0x45, '0',
0x46, '9',
0x49, ':',
0x4a, '-',
0x4b, 'l',
0x4c, 'o',
0x4d, 'p',
0x4e, '+',
0x52, 'a',
0x54, 'A',
0x55, '¥¥',
0x5a, '13',
0x5b, '^',
0x5d, '¥',
0x61, '<',
0x66, '8',
0x69, '1',
0x6b, '4',
0x6c, '7',
0x70, '0',
0x71, ',',
0x72, '2',
0x73, '5',
0x74, '6',
0x75, '8',
0x79, '+',
0x7a, '3',
0x7b, '-',
0x7c, '*',
0x7d, '9',
0, 0
};
```

```
// シフト有り符号-文字対応表
flash unsigned char shifted[][2] = {
0x0d, '9',
0x0e, '$',
0x15, 'Q',
0x16, '!',
0x1a, 'Z',
0x1b, 'S',
0x1c, 'A',
0x1d, 'W',
0x1e, '"',
0x21, 'C',
0x22, 'X',
0x23, 'D',
0x24, 'E',
0x25, '.',
0x26, '#',
0x29, ',',
0x2a, 'V',
0x2b, 'F',
0x2c, 'T',
0x2d, 'R',
0x2e, '%',
0x31, 'N',
0x32, 'B',
0x33, 'H',
0x34, 'G',
0x35, 'Y',
0x36, '&',
0x39, 'L',
0x3a, 'M',
0x3b, 'J',
0x3c, 'U',
0x3d, '/',
0x3e, '(',
0x41, ':',
0x42, 'K',
0x43, 'I',
0x44, 'O',
0x45, '=',
0x46, ')',
0x49, ':',
0x4a, '-',
0x4b, 'L',
0x4c, 'O',
0x4d, 'P',
0x4e, '?',
0x52, 'A',
0x54, 'A',
0x55, '^',
0x5a, '13',
0x5b, '^',
0x5d, '*',
0x61, '>',
0x66, '8',
0x69, '1',
0x6b, '4',
0x6c, '7',
0x70, '0',
0x71, ',',
0x72, '2',
0x73, '5',
0x74, '6',
0x75, '8',
0x79, '+',
0x7a, '3',
0x7b, '-',
0x7c, '*',
0x7d, '9',
0, 0
};
```





## 本社

### *Atmel Corporation*

2325 Orchard Parkway  
San Jose, CA 95131, USA  
TEL 1(408) 441-0311  
FAX 1(408) 487-2600

## 国外営業拠点

### *Atmel Asia*

Unit 1-5 & 16, 19/F  
BEA Tower, Millennium City 5  
418 Kwun Tong Road  
Kwun Tong, Kowloon  
Hong Kong  
TEL (852) 2245-6100  
FAX (852) 2722-1369

### *Atmel Europe*

Le Krebs  
8, Rue Jean-Pierre Timbaud  
BP 309  
78054 Saint-Quentin-en-Yvelines  
Cedex  
France  
TEL (33) 1-30-60-70-00  
FAX (33) 1-30-60-71-11

### *Atmel Japan*

104-0033 東京都中央区  
新川1-24-8  
東熱新川ビル 9F  
アトメル ジャパン株式会社  
TEL (81) 03-3523-3551  
FAX (81) 03-3523-7581

## 製造拠点

### *Memory*

2325 Orchard Parkway  
San Jose, CA 95131, USA  
TEL 1(408) 441-0311  
FAX 1(408) 436-4314

### *Microcontrollers*

2325 Orchard Parkway  
San Jose, CA 95131, USA  
TEL 1(408) 441-0311  
FAX 1(408) 436-4314

La Chantrerie  
BP 70602  
44306 Nantes Cedex 3  
France  
TEL (33) 2-40-18-18-18  
FAX (33) 2-40-18-19-60

### *ASIC/ASSP/Smart Cards*

Zone Industrielle  
13106 Rousset Cedex  
France  
TEL (33) 4-42-53-60-00  
FAX (33) 4-42-53-60-01

1150 East Cheyenne Mtn. Blvd.  
Colorado Springs, CO 80906, USA  
TEL 1(719) 576-3300  
FAX 1(719) 540-1759

Scottish Enterprise Technology Park  
Maxwell Building  
East Kilbride G75 0QR  
Scotland  
TEL (44) 1355-803-000  
FAX (44) 1355-242-743

### *RF/Automotive*

Theresienstrasse 2  
Postfach 3535  
74025 Heilbronn  
Germany  
TEL (49) 71-31-67-0  
FAX (49) 71-31-67-2340

1150 East Cheyenne Mtn. Blvd.  
Colorado Springs, CO 80906, USA  
TEL 1(719) 576-3300  
FAX 1(719) 540-1759

### *Biometrics*

Avenue de Rochepleine  
BP 123  
38521 Saint-Egreve Cedex  
France  
TEL (33) 4-76-58-47-50  
FAX (33) 4-76-58-47-60

## 文献請求

[www.atmel.com/literature](http://www.atmel.com/literature)

## © Atmel Corporation 2002.

ATMEL製品は、ウェブサイト上にあるATMELの定義、条件による標準保証で明示された内容以外の保証はありません。本製品は改良のため予告なく変更される場合があります。いかなる場合も、特許や知的技術のライセンスを与えるものではありません。ATMEL製品は、生命維持装置の重要部品などのような使用を認めておりません。

本書中の®、™はATMELの登録商標、商標です。

本書中の製品名などは、一般的に商標です。

## © HERO 2013.

本応用記述はATMELのAVR313応用記述(doc1235.pdf Rev.1235B-05/02)の翻訳日本語版です。日本語では不自然となる重複する形容表現は省略されている場合があります。日本語では難解となる表現は大幅に意識されている部分もあります。必要に応じて一部加筆されています。頁割の変更により、原本より頁数が少なくなっています。

必要と思われる部分には( )内に英語表記や略称などを残す形で表記しています。

青字の部分はリンクとなっています。一般的に赤字の0,1は論理0,1を表します。その他の赤字は重要な部分を表します。